

2025年度OITDAセミナー

「光が拓くビジョンテクノロジー」

2025年11月にパシフィコ横浜で開催される「インターオプト(※)」において、OITDAセミナーを以下の要領で実施いたします。

本セミナーでは、XR、メタレンズ、空中ディスプレイなど、現在注目を集める光技術に関して、第一線でご活躍中の専門家の方々による講演を予定しております。

未来を拓く光技術に触れる貴重な機会となっておりますので、ぜひ皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2025年

日時 **11/12 (水) 13:00～16:20**

会場 **パシフィコ横浜** 2階Annexホール
F204

(※) インターオプト会期：2025年 11月11日(火)～13日(木)

<プログラム>

- | | | |
|-------------|---|--------------------------------|
| 13:00～13:05 | 主催者挨拶 | (敬称略)
一般財団法人光産業技術振興協会 小谷 泰久 |
| 13:05～13:50 | XR体験を変える！AR/VRヘッドマウントディスプレイの最新動向と技術トレンド | Lambda Works 井出 昌史 |
| 13:50～14:35 | オプトルのメタレンズ実用化への取り組み | 株式会社オプトル 藤村 康浩 |
| 14:50～15:35 | 空中ディスプレイと空中結像技術の展望 | 株式会社アスカネット 大坪 誠 |
| 15:35～16:20 | リアルとサイバーをつなぐ空間メディアの展望
～非接触・非装着の表示技術を中心に～ | 宇都宮大学 山本 裕紹 |

聴講料：一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員会社、大学・公的機関、報道関係者：無料

一般参加者：¥10,000（消費税込）

参加申込：右記申込フォームよりお申込みください。 <https://forms.office.com/r/5FiGqaqhgy>

※定員になり次第締め切りとなります。また、講演タイトル等が変更になる場合があります。

2025年度OITDAセミナー 「光が拓くビジョンテクノロジー」

2025年11月12日 (水) 13:00～16:20 パシフィコ横浜 2階Annexホール F204

	プログラム	
13:00～13:05	『主催者挨拶』 一般財団法人光産業技術振興協会 副理事長 兼 専務理事 小谷 泰久	
13:05～13:50	『XR体験を変える！AR/VRヘッドマウントディスプレイの最新動向と技術トレンド』 Lambda Works 代表 井出 昌史 AR/VRヘッドマウントディスプレイの光学技術と最新動向を解説します。反射構造でVRセット小型化を実現する「パンケーキ方式」、AR用途ではコンバイナを用いた「バードバス方式」、光導波路と回折素子を使う「AR導波路方式」など、主要方式の原理と特性を紹介し、加えて、医療・製造・教育などXR応用の実例と現在市販されている主要機種の技術的特徴を整理し、次世代のXR体験を支える光技術の進展を展望します。	
13:50～14:35	『オプトルのメタレンズ実用化への取り組み』 株式会社オプトル ビジネスインキュベーションセンター オプティカル研究グループ エキスパート 藤村康浩 究極の薄型・小型化を実現できる可能性のあるメタレンズが現在注目されています。我々は長年にわたりマイクロレンズアレイやフォトニック結晶といった微細加工デバイスの開発・量産を行ってきました。この技術ノウハウを生かし、現在はLiDARやカメラレンズ、AR/VRグラス向けへの展開も期待できるメタレンズの開発・量産化を目指し取り組んでいます。本講演では、これらの実用化に向けた取り組みを紹介します。	
14:50～15:35	『空中ディスプレイと空中結像技術の展望』 株式会社アスカネット 空中ディスプレイ事業部 スペシャリスト 大坪 誠 弊社の空中結像技術(2020年10月25日、毎日放送「情熱大陸」でも取り上げられました)は、無数の微小な鏡を用いた「2面上下直交リフレクタ」で構成された透明な平面Plateで、対象物からの散乱光を無歪で面对称に結像させる画期的な技術です。2011年開発着手以降の社会実装等、今日までの経緯について紹介します。また今後の技術の展望については、現状の課題を明確にし、その課題解決に向けた取組、そして将来の新しい空中結像技術についてその可能性を紹介します。	
15:35～16:20	『リアルとサイバーをつなぐ空間メディアの展望 ～非接触・非装着の表示技術を中心に～』 宇都宮大学 工学部基盤工学科 情報電子オプティクスコース 教授 山本 裕紹 リアル（現実空間）とサイバー空間を融合する「空間メディア」技術が注目されています。本講演では、光集積回路を用いる表示技術やコンタクトレンズディスプレイなどの次世代ディスプレイ技術の動向を紹介し、非接触・非装着インターフェース技術（Touchless HMI）を題材として、空間メディアの基盤となる光学技術や標準化、次世代モビリティやスマート空間への応用について展望します。	

聴講料：一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員会社、大学・公的機関、報道関係者：無料
一般参加者：¥10,000（消費税込）

参加申込：下記申込フォーム又はQRコードよりお申込みください

<https://forms.office.com/r/5FiGqaqhgy>

